

■唐竹小学校跡施設活用にかかる意見聴取結果<一覧表>

資料No. 3

1. 実施概要

(1) 唐竹小学校区住民向け意見交換会

- ・開催日時：2018年8月19日（日）①午後3時30分～4時40分 ②午後7時00分～8時40分
- ・参加者：①6名 ②10名
- ・意見件数：41件

(2) どんぐり学園保護者説明会

- ・開催日時：2018年7月18日（水）
- ・参加者：14名
- ・意見件数：7件

2. 意見聴取結果（分類別）1/2

【活用案による対応状況凡例：○=対応可能、△=一部対応可能、×=対応不可】

No.	大分類	小分類	意見の概要	市の考え方	活用案による対応状況	
1	①施設	①-1集会所	唐竹小学校区は集会所が不足している地域であるため、集会所を整備して欲しい。	交流スペースを整備するほか、活動室を整備し、集会所として利用できるスペースを複数整備したい。	○	
2			集会所として活用して欲しい。			
3			区自治会、老人クラブの会合等に使用したい。			
4		①-1集会所 ①-2活動室	1階部分に集会所スペースを整備して欲しい。また、現状の普通教室を2～3つに仕切ったくらいの大さきのスペースも整備して欲しい。		エレベーターを新設するため、集会所スペースについては2階以上の部分に整備する。また、市民が利用できる活動室などを整備し、その中で大きさの異なるスペースを整備したい。	○
5			①-2活動室		パッチワークができるような大きなスペースを整備して欲しい。	活動室を複数整備し、各活動がしやすいスペースを整備したい。
6		①-2活動室	NPO団体が活動できるスペースを整備して欲しい。		商工会館2階の「市民交流センター」を拡充・移転し、登録団体には活動室を利用していただく。	○
7			健康増進室を設け、運動器具を設置し、遠出の困難な高齢者でも、筋力アップ、運動ができるような（65歳以上という条件付けで）施設にして欲しい。		65歳以上という条件をつけたトレーニングルームのような場所は設置しないが、体育館や活動室（多目的室など）で健康増進のための運動教室などを開催することは可能。	△
8		①-2活動室 ①-7教育	①市民がグループとして利用できる施設の整備、②教育センター、図書館分室機能、グラウンドの庭園化をして欲しい。		市民グループ等が活動するための場所、小中高生のまなびの場は整備したい。また、図書スペースも整備したい。グラウンドについては、一般開放を継続するため庭園化はしない。	△
9			①-2活動室 （調理）		調理室を1階に整備して欲しい。	エレベーターを新設するため、北館3階の現家庭科室を市民が利用できる調理室に整備したい。
10		体操教室、健康講座、料理教室ができる場所を整備して欲しい。			講座等に利用できる活動室、調理室を整備したい。	○
11		①-2活動室 （防音）	一般市民が利用できる部屋、音楽室を整備して欲しい。		講座等に利用できる活動室、防音環境のある教室を整備したい。	○
12			楽器や芸能の練習室（防音設備）を整備して欲しい。		防音環境のある活動室を整備したい。	○
13		①-2活動室 （まなび）	子どもたちが様々なことを学ぶことができるようなスペースを整備して、子どもたちの放課後を充実して欲しい。		キッズスペース等を整備して、様々な方に協力を得ながら、様々なことを学ぶことができる機会を設けたい。	○
14	①施設 ④その他	①-2活動室 ①-1集会所 ①-4子育て ④-8利用方法	①ボランティア活動や健康体操、教育の教室、パソコン教室、料理教室、陶芸やモノ作り教室、趣味の音楽、歌・音楽教室、スポーツクラブ、②地域で行う会議、③子育て支援センター等で利用して欲しい。また、固定で使う教室と申込みで利用できる教室に分けて欲しい。	原則的には、現状のままで使える部分については有効活用して、地域で行う会議にも使用でき、各活動がしやすい活動室を整備したい。子育て支援センターも整備する。また、利用方法などの詳細については、2019年度中に協議の場を設けたい。	○	
15			①施設	①-3交流の場	交流スペースを複数整備したい。	○
16	地域の子どもと高齢者がふれ合える場所を作って欲しい。					
17	①-4子育て	若い世代と高齢者との交流ができるような機能を持った施設も整備して欲しい。				
18		幼児、子ども、大人が室内で体を動かして遊べる部屋（ピンポン、ボール転がし、カローリング）を整備して欲しい。	屋内あそび場や多目的スペースを整備したい。また、体育館も一般開放とするため、活用可能。	○		
19		子どもが動き回って遊べるスペースが欲しい。	子育て支援拠点として、屋内プレイルームを整備したい。	○		
20		雨の日でも子どもたちが遊べるプレイルームを整備して欲しい。				
21	①-5飲食店	市内の人が借りられるスペース（部屋・和室）があればよい。ママ友が集まって、お茶をしたり、イベントを開催したい。気軽に安く集まれる場所が欲しい。	交流スペースや活動室（一部畳のスペース）を整備したい。	○		
22		カフェを整備して欲しい。	飲食できるスペースは確保したいが、カフェについては運営コストなども含めて難しい。	△		
23	①-6図書室	堅苦しくない「行きたいな」と思わせる集いの場でもあり、軽食ができるカフェを作って欲しい。そのカフェに従業員として、障がいを持つ人を雇って欲しい。	調理室（北館3階）は整備したい。飲食可能スペースは各階に設置、店舗は採算を考えると難しい。	△		
24		読み聞かせスペースを整備して欲しい。	カフェの設置については、採算も含めて検討する必要がある。	×		
24	①-6図書室	読み聞かせスペースを整備して欲しい。	キッズスペース等を活用して、市民団体などの協力を得ながら、定期的に読み聞かせを開催していきたい。	○		

2. 意見聴取結果（分類別）2/2

【活用案による対応状況凡例：○=対応可能、△=一部対応可能、×=対応不可】

No.	大分類	小分類	意見の概要	市の考え方	活用案による対応状況
25	①施設 ②設備	①-6図書室 ①-2活動室 ②-2エアコン ②-3エレベーター	①図書館分室の整備、②ひまわり講座の会場として利用、③調理室を活用してカフェを整備して欲しい。また、冷暖房設備やエレベーターも整備して欲しい。	交流スペースやキッズスペース等に図書等を配置したい。また、活動室も整備する予定なので、講座の会場としても活用可能。カフェについては、飲食スペースを設ける予定。必要な箇所には冷暖房設備を設置する予定。エレベーターについても、必要性があるため新設したい。	○
26	①施設	①-7教育	共働き世帯向けに子どもを預かる施設を整備する考えはあるか。	新設校（現双峰小学校）内に両校の子どもたちが利用できるように、放課後子ども教室と放課後児童クラブを展開したい。	○
27			南部と北部に設置している教育支援センターを統合して整備して欲しい。	教育支援センターについては、教育委員会との協議の結果、南部地区（栄公団）と北部地区（勅使会館）に設置している有意性を考慮して、統合することは考えていない。	×
28		①-8民間活用	起業向けにシェアオフィスを整備して活力ある市を目指す考えはあるか。	市内でもっとも地理的に有利な前後駅周辺での整備を検討している事業者があり、行政主導ではなく、民間事業者主導での整備を期待したい。	×
29			①シェアオフィス、②体育館をレンタルスペースにして市民に開放（トレーニングマシンや卓球台を設置）して欲しい。	シェアオフィスについて、スペースとしては整備しないが、一般的な活動室が利用可能と考える。体育館については、一般開放として活用するが、トレーニングマシンは整備する予定はない。	△
30		①-9その他	施設の長寿命化を図っていく必要はないか。	施設の長寿命化に資する外壁改修や屋根防水改修工事等を検討したい。	○
31	②設備	②-1トイレ	洋式トイレ（ウォシュレット）を増設して欲しい。トイレブースも広くして欲しい。	トイレについては、すべて改修して洋式（ウォシュレット）化したい。	○
32			多機能トイレ（車イスも一緒に入れる広々としたスペース）を整備して欲しい。	既存のトイレを活用する中で広めのスペースを確保したい。	○
33		②-4駐車場	駐車場を増設して欲しい。	駐車スペースは、現状（約35台）のままでは不足するため、グラウンドの一部を駐車場に整備したい。	○
34		②-5その他	喫煙スペースを設けるのであれば分煙して欲しい。	敷地内禁煙とするため、喫煙スペースは設けない。	○
35			子どもがわくわくするような遊具を整備して欲しい。	現状の遊具等を更新して、屋外でもあそべる場所を整備したい。	○
36			双子用ベビーカーでも利用しやすい広めの通路や出入口にして欲しい。	既存の校舎を活用する中で広めの通路や出入口を整備したい。	○
37	③避難所	③-1避難所	避難所として利用したい。	これまでどおり避難所として指定する。	○
38			避難所として体育館だけではなく、災害時利用できる室（避難生活室、調理室、非常食救援物資置き場、マンホールトイレ）を整備して欲しい。また、災害時の施設利用を事前に決めておきたい。	避難生活が長期化した際、校舎内の各活動室も利用可能。マンホールトイレについては、2019年度に設置予定。災害時のルール決めについては、地域のみなさんと継続的に協議していく必要がある。	○
39		③-2避難駐車スペース	災害時に車中泊できるようにするため、駐車スペースの確保と車の出入り口を広げるような整備をして欲しい。	災害時に車中泊する避難所は、今回の整備とは別の場所において、ある程度集約する方向で検討していきたい。	×
40	④その他	④-1イベント	健康と医療のまちを目指すため、幼いころから子供たちに医療に関心をもってもらうようなイベントを開催して欲しい。	活動室等を活用して、藤田医科大学や医師会などの協力を得ながら、医療に関心をもってもらえるようなイベントを開催していきたい。	/
41			昔あそび、田植え、畑作業を体験できるようなイベントを開催して欲しい。	多世代交流スペースや活動室を活用して、昔あそびなどの場を設けることは可能。田んぼや畑など農作業の体験などについても、活動団体の一つの活動として企画可能。	
42		④-2防災センター	災害時に向けた防災センター化についての考えはあるか。	今回の整備においては防災センター化については見送り、地域のみなさんと高めてきた防災力を引き続き高めていきたい。	
43		④-3市役所出張所	市役所の出張所機能を導入して欲しい。	市民向けの出張相談は実施していきたい。また、市内各所における証明書発行については、コンビニエンスストアへの無人発行機設置、郵便局での発行業務委託などマイナンバーカードの発行状況も考慮した上で検討していきたい。	
44		④-4子育て	児童発達支援センターにおいて、リハビリ（理学療法・作業療法・言語訓練など）も実施して欲しい。	場所的には確保できる。リハビリを含めたサービス展開（委託にするかは要検討）は可能。	/
45		④-5太陽光発電	グラウンドに太陽光発電施設を整備して欲しい。	現在、唐竹小学校グラウンドを利用している団体が今までどおり利用できなくなってしまうため、グラウンドに太陽光発電施設を整備する考えはない。	
46		④-6費用負担	集会所の運営上の費用負担の考えはどうか。	一定程度は費用負担をしていただく予定ではあるが、できるかぎり大きな負担とならないような設定にしたい。	
47		④-7検討プロセス	市が先に児童発達支援センターや子育て支援センターの設置を決めているということは、何のための意見交換会なのか。まずは、市民の意見を聞くことが優先ではないか。	行政に携わる市職員の責務として、市全体としての優先順位の高い施設を効率良く配置できるように跡施設の活用方針をまとめた。意見交換会もそのための重要なツールの一つである。また、普段から市は多くの事業を通じて、市民より多くのご意見を伺っており、それも考慮に入れていくことになる。なお、児童発達支援センターについては、現どんぐり学園の施設・サービス拡充が喫緊の課題となっているものを受けたものであり、子育て支援センターについては、市の中心部への移転の必要性が迫られていたことを受けたもの。子育てしやすい環境づくりは、当市における子育て世代の定住促進の視点からも必要であり、市として最優先で整備したい。	
48			今後の決定プロセスにおいて、市民を育てるという意味でも、市民が参画できる仕組みを取り入れて欲しい。現状の検討プロセスでは、市民は不安を感じている。	2018年度中に活用基本方針を決定し、2019年度中に個別・具体的に関係者（利用者、団体等）との協議をしていく予定。	/